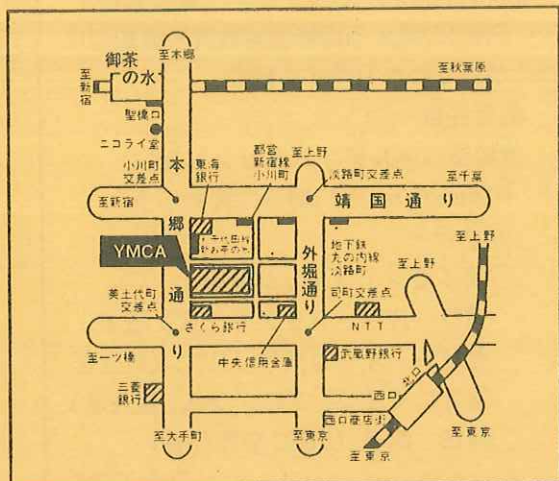


参加対象 教員、社会教育関係者、NGO関係者、教育や子どもに興味のある方

定員 80名

参加費 10,000円(資料として『人権教育ファシリテーターハンドブック』代含む)

なお、なるべくゴミを出さないようお願いします。お弁当を持参いただける方はご用意くださるようお願い致します。



■ 東京YMCA国際奉仕センター

JR

● 神田駅 出口 (西口・北口)

● 御茶ノ水駅 出口 (聖橋口)

地下鉄

● 丸ノ内線 淡路町駅 出口 (A-2・A-4)

● 千代田線 新お茶の水駅 出口 (B-6)

● 都営新宿線 小川町駅 出口 (A-6)

● 銀座線 神田駅 出口 (北口)

主催 ERIC 国際理解教育センター

共催 東京YMCA国際奉仕センター

■ 開催日程 2000年7月29日(土)~30日(日)

■ 会場 東京YMCA国際奉仕センター 東京都千代田区神田美土代町7-1 TEL03-3293-7011

後援 (予定) 外務省、文部省、東京都、ユニセフ、(社)日本ユネスコ協会連盟、(財)自治体国際化協会、全国地理教育研究会、全国高等学校長会、全国高等学校国際教育研究協議会、東京都地理教育研究会、東和大学国際教育研究所、帝塚山学院大学国際理解研究所、開発教育協議会、日本国際理解教育学会

◎参加ご希望の方は、別紙の申込書にご記入のうえ、下記の住所宛にお送りください。また、参加費および懇親会費は指定の郵便振替口座にお振り込みください。

☎ 114-0013 東京都北区田端 1-14-1 岩瀬ビル ERIC「グローバル・セミナー」係

TEL:03-3800-9415 FAX:03-3800-9410 e-mail:eric-net@try-net.or.jp

参加費用振込先 郵便振替口座:00180-8-710744 加入者名 ERIC事務局

(通信欄に「グローバル・セミナー」と明記してください)

2000.7.29-30 SEMINAR

国際理解教育研修プログラム「グローバル・セミナー」開催のご案内

GLOBAL

〔開催趣旨〕

子どもたちが目を輝かせる学校づくり、対立を越えて多様性を活かす地域づくり、世界の諸問題の解決など、いま求められる力をわたしたち自身の中に育て、文化や社会を越えて共通の基盤としていきませんか？

いっしょに模索し確認する機会として、ERICの原点『ワールド・スタディーズ 学びかた・教えかたハンドブック』の共著者サイモン・フィッシャーさんを英国から迎えます。

現在、フィッシャーさんは、非欧系住民の多いバーミンガム市のセリー・オーク大学で「対立を解きほぐそう (RTC)」プログラム責任者として、地元の教員、保健・医療関係者、女性団体、労働組合、弁護士など幅広い人たちと協力して「地域の平和力」づくりに取り組んでいます。

今年のグローバル・セミナーは、そんなフィッシャーさんとともにあなたの抱えている課題の解決を考える2日間のワークショップです。

課題を扱うときには、どのような状況に対しても有効な人間関係や対立についての分析の方法があります。そして課題解決のために、お互いが未来に向かってビジョンとその価値を認め、ビジョンの障害となるものを乗り越えていくことをお伝えします。

また、対立を扱うときに必要な信頼関係、聞くこと、感情の扱いなど、対立解決のためのスキルについても取り組みます。もちろんワークショップにおいては、楽しさと経験学習に基づく参加型手法を活用します。

ワークショップは、あなたの課題を、みんなの課題として考える場所です。課題の扱い方と平和的な解決についての理解とスキルを身につけましょう。

わたしとあなた、みんなの未来のために。

P R O G R A M

7月29日(土)

10:00 ~ 12:00

ERIC ポスターセッション (参加無料)

ERICの考える国際理解教育や参加型についてわかりやすく紹介

12:00

昼食各自

12:50

参加型パネルディスカッション

「Change is us! (明日は変わろう)」

パネラー

○サイモン・フィッシャー

(『ワールド・スタディーズ』著者、セリー・オーク大学「RTC (対立を解きほぐそう) プログラム」責任者)

○角田 尚子 (ERIC 事務局長)

司会-ERIC

17:00

17:30

懇親会

7月30日(日)

9:00

課題解決のための
グローバル・セミナー・ワークショップ

(昼食)

15:30

ワークショップ終了

15:40

共有・ふりかえり・まとめ

(コメンテーター:

サイモン・フィッシャー)

17:30

終了

● ゲスト・パネラー紹介

● サイモン・フィッシャー

1948年クアラルンプール生まれ。1974年オックスフォード大学院(教育学)卒。アフリカで教壇に立つ1979年よりワン・ワールド財団ワールド・スタディーズ担当。1980~1983年「ワールド・スタディーズ8-13歳プロジェクト」責任者。

その後、ザイールなどでの仕事を経て英国に戻り、バーミンガム市セリー・オーク大学「対立を解きほぐそうプログラム (RTC) 責任者。趣味は4人の子と作曲をすること、雨もりのするテントでキャンプをすること(!?)

● 角田 尚子

ERIC 国際理解教育センター事務局長
大阪大学人間科学研究課博士過程終了
グリーンピース・ジャパン (元スタッフ)
企画委員として ERIC の設立から関わる。
1994年4月から事務局長。

- 分野：対立
- 対象年齢：一般
- 適した人数：30～40名
- 所要時間のめやす：10時間

対立を扱うためのプログラムとワークシート

グローバルセミナー2000「対立を超えて、世紀を超えて 地球の明日とわたしたちの力」において実施されたプログラムの流れとワークシートを紹介します。

○目的

RTC (Responding To Conflict 対立を解きほぐそう) のサイモン・フィッシャーをファシリテーターに向かえ、私たち自身の課題を出し合い、対立に関する問題解決に迫る

*サイモン・フィッシャーは『ワールド・スタディーズ』の著者のひとりです

○プログラムの流れ

時間	1日目	2日目
10:00～ 12:00 (2日目は 9:00 ～)		<ul style="list-style-type: none"> ・目をつぶって歩こう (対立において戦略) ・対立の事例 ・レクチャー：対立の扱い方 ・話し合いで自分の対立の扱い方を考える ・対立のロールプレイ ふりかえり
13:00～ 15:00	対立を扱うためのワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップにおけるルールづくり ・フルーツバスケット (動物編) ・アクティブ・リスニング ・変化の木 	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼の散歩 (トラストウォーク) 2人一組で ・レクチャー：パワーについて ・もっているかをどう使うか／どう引き出すか
15:00～ 17:00 (2日目は 16:00ま で)	<ul style="list-style-type: none"> ・目隠しアンケート ・何が障害になるのか？ ・対立のマッピング ・人間粘土 (スカルプチャー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップふりかえり ・評価の花マル ・気づいたこと／学んだこと ・これからERICとの関わりでしたいこと ・全体 写真撮影

あなたがつくるグローバル・セミナー2000

「ワールド・スタディーズの10年をふりかえる」

ERICの原点『ワールド・スタディーズ』

あの名著の著者が日本にやってくる！

サイモン・フィッシャーさんとERIC事務局長

史上初の「参加型対談」！？

・日程 2000年7月29日(土) 30日(日)

・場所 東京YMCA 学生ホール

・参加費 ~~15,000~~円 (3000円相当のテキスト代込)

10,000円

ERICが海外のグローバル教育や参加型学習の理論・実践を紹介するようになって10年。ERICの新しい十年期の始まりと、今世紀の締めくくりを飾るグローバル・セミナー2000をみなさんと共に開催いたします。

子どもたちが目を輝かせる学校づくり、対立を越えて多様性を活かす地域づくり、世界の諸問題の解決など、いま求められる力をわたしたち自身の中に育てるには？文化や社会を超えて共通の基盤とは？

いっしょに模索し確認する機会として、ERICの原点『ワールド・スタディーズ 学びかた・教えかたハンドブック』の共著者サイモン・フィッシャーさんを英国から迎えます。

フィッシャーさんは、マレーシア生まれ。アルジェリアでボランティア、ジンバブエで教壇に。英国でワールド・スタディーズ・プロジェクトを運営後は再びアフリカを中心に開発・平和のプログラムに関わり、現在は非欧系住民の多いバーミンガム市で「対立を解きほぐそう(RTC)」プログラム責任者として、地元の教員、保健・医療関係者、女性団体、労働組合、弁護士など幅広い人たちと協力して「地域の平和力」づくりに取り組んでいます。

人間も情報も地球を飛び交うかつてない事態の中で、何かが大きく動きかけている現代社会。同じコミュニティの中でも意見や価値観、利害などの食い違いが生まれるのは当然です。

その中で、誰にも不利益を押し付けることなく協力して問題を解決し、多様性と自主性を尊重して誰にとってもよりよい場を確保していくにはどうしたらよいのでしょうか？学校づくりからコミュニティづくりへー世界の東と西の端で、ERICの目指すところとフィッシャーさんの軌跡はそのまま重なるかのようです。(略歴参照)

-----切り取り-----

-----切り取り-----

グローバル・セミナー2000に参加を希望します。

氏名

連絡先

・住所

・電話

・e-mail

所属

切り取って郵送してください。114-0013 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル グローバルセミナー係まで

「参加者と創るグローバル・セミナー」の試みも今年で2年目。さまざまな問題を抱える今の世界、今の日本で、多様な人間と環境が共存する地球を目指す全国のERICの仲間たちと、グローバル・セミナーで、何を語り合い、何にともに取り組んでいくのがよいでしょうか。ERICにとってもわくわくする課題です。今年もさまざまな案を検討中。でも、主役はあくまでもあなたです。

あなたは、こんなフィッシャーさんとのグローバル・セミナー2000をどんな場にしたいですか？ あなたの願いをわたしたちの力に、わたしたちの願いをあなたの力に—ぜひERIC事務局までお寄せください。

(A 4x2 頁まで)

(フィッシャーさんたちRTCのホームページはwww.rcspond.orgです。どしどしアクセスして参考にしてください。) みなさんの力強い「参加」をお待ちしています！

お問い合わせ・ご要望はERIC研修部へ。tel 03-3800-9415 fax 03-3800-9410

サイモン・フィッシャー略歴

1948年クアラルンプール生まれ。1974年オックスフォード大学院(教育学)卒。アフリカで教壇に立つ1979年よりワン・ワールド財団ワールド・スタディーズ担当1980-83年「ワールド・スタディーズ8-13歳」プロジェクト責任者。

その後ザイルなどでの仕事を経て英国に戻り、バーミンガム市セリー・オウク大学「対立を解きほぐそう(RTC)」責任者。趣味は「4人の子と作曲をすること、雨もりのするテントでキャンプすること(!?)」

現在温めている「アイデアの卵」たち

- ・「参加型対談・21世紀の地球づくりへ」
- ・親の解放、教員の解放
- ・女の子が安心・安全に生きられる社会づくり
- ・地元の警察を教育しよう
- ・男の子が「暴力」から解放されるには
- ・学校を地域社会の交差点に
- ・学校解放のステップ1、2、3
- ・ファシリテーターって何だ？
- ・リストラを越えて-おとうさんの帰還と地域の再生
- ・「子育て」から「共育」へ
- ・地域・学校を子どもたちと創る
- ・コミュニティ・ビジョン—地域の社会的合意形成
- ・NGO/NPO活動の全てにジェンダーの視点を
- ・子どもの参加で地域が生まれ変わる

○フィッシャーさんは7月28日から8月6日まで滞在される予定です。ご自分の地域でセミナーを主催したい方、ふるって研修部までご一報ください。

ERIC国際理解教育センター
114-0013 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル
FAX音声案内 03-3800-9414
研修部 03-3800-9415
出版部 03-3800-9416
F A X 03-3800-9410
homepage : <http://www.try-net.or.jp/~eric-net/>
e-mail : eric-net@try-net.or.jp

○グローバルセミナー2000の参加を希望される方は以下の参加希望書をERICまでお送りください。

みなさまの申込みを心よりお待ち申し上げます。

-----切り取り-----

-----切り取り-----

グローバル・セミナー2000に期待すること、ご提案、フィッシャーさんへの質問など

切り取って郵送してください。114-0013 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル グローバルセミナー係まで